

男子第75回滋賀県高等学校駅伝競走大会要項
兼男子第75回全国高等学校駅伝競走大会滋賀県予選会
兼男子第75回近畿高等学校駅伝競走大会滋賀県予選会

1	主 催	滋賀県高等学校体育連盟・滋賀陸上競技協会・滋賀県教育委員会・毎日新聞社
2	共 催	公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園
3	主 管	滋賀県高等学校体育連盟・滋賀陸上競技協会
4	日 時	令和6年11月3日（日） 10時30分出発
5	場 所	滋賀県希望が丘文化公園 特設コース
6	区 間	1区 10km 3区 8.1075km 5区 3km 7区 5km 2区 3km 4区 8.0875km 6区 5km

7 参加資格（抜粋）

- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高校に在籍する生徒であること。
- (2)選手は、都道府県高等学校体育連盟加盟の学校の生徒であること。
- (3)都道府県陸上競技協会を経て日本陸上競技連盟の登録競技者であること。
- (4)平成17年4月2日以降生まれの男子生徒であること。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5)転校後6ヶ月未満の者は出場出来ない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
- (6)全日制・定時制・通信制の混成チームは認めない。
- (7)参加資格の特例。

ア 上記に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けていない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

「大会参加資格の別途に定める規定」

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し都道府県高等学校体育連盟の大会参加の認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

大会参加資格を認める条件

ア、全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。

イ、参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ、各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の大会の出場条件が満たされていること。

エ、各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していない、運営が適切であること。

8 競技規定

- (1)学校対抗（1校1チーム）とし、優勝チームは全国高等学校駅伝競走大会、上位6チームは近畿高等学校駅伝競走大会の出場権が与えられる。
- (2)チームは、監督1名、選手10名とし、申込後の変更は認めない。
- (3)監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、申込書に校長が認める文面を添付するとともに、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保障保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (4)学校単独による複数チーム又は複数校による混成チームの出場は認めるが、オープン参加とし総合順位・区間順位には入らない。
- (5)外国人留学生の参加については2名以内とし、出場については2区または5区で1名とする。
- (6)オーダー提出後の選手変更是、病気等不慮の事故以外認めない、変更の場合は、補欠をその区間の交代として補充し、必ず「選手変更届け用紙」によりその事由（医師の診断書等）を付して競技会当日8時30分迄に大会総務まで提出すること。
- (7)スタート時の整列順は、前年の順位を参考に大会本部が決定する。
- (8)引継は、タスキを用いる（各校準備の大会規定のもの）。タスキを肩に掛けていない選手は失格とする。（但し引き継ぎ前後30mは手を持って走っても良い。）
- (9)伴走は、一切認めない。競技中、中央道コース内への、出場チームに關係の有る者の立ち入り、歩行を禁ずる。大会本部指定自転車以外は競技中如何なる場合もコース内走行を厳禁する。

- (10) 競技者は、如何なる場合も道路の左側端を走行すること。特にカーブでは設置してあるカラーコーンの左側を走行すること。
- (11) 競技開始後の選手の変更は認めない。選手が事故等のためレースを放棄した場合は次走区から次走者が出発するものとする。この場合の出発の時期は、最後尾走者と同時に出発させ、オープントakingとして取り扱うが区間順位は認める。
- (12) 第1区を除く他区間で同タイムが出た場合は同順位とする。
- (13) 先頭走者との差が著しく開いた場合、1チーム又は数チームの次区走者をそのチームの走者が到着する前に出発させる。(繰り上げ出発)
- (14) 競技は、2024年日本陸上競技連盟規則、同駅伝競走基準及び本大会規定により行う。

9 監督会議・開閉会式

監督会議	10月31日(木)	秋季総体1日目終了後(彦根)(出席の無い場合は棄権とみなす)
オーダー提出	11月2日(土)	13:00(提出の無い場合は申込オーダーとする)
方法		
開会式	11月3日(日)	9:30~
閉会式	11月3日(日)	14:00~(予定)

10 申込方法

日本陸連エントリーシステムにて、エントリーを済ませること。令和6年10月18日(金)を締切とする。
また、滋賀県高体連陸上競技専門部Webサイトに掲載する所定の様式に必要事項を記入し、・認知書(公印入り)をスキャンしPDFとして保存したものと、令和6年10月18日(金)までに顧問のページの送信フォームから提出すること
問い合わせ 〒522-0033 彦根市芹川町580
彦根翔西館高等学校滋賀県高体連陸上競技専門部
八木 佐知男 宛
※10月19日(土)に実施する滋賀陸協記録会高校の部に持参し、9:00までに提出する場合も可とする。

11 プログラム編成会議

令和5年10月19日(土) 9:30 彦根競技場 終了後HPにエントリーリストを掲載

12 表彰

- (1) 優勝校には、優勝旗、毎日新聞社から代表旗を授与して表彰する。
- (2) 総合1位～3位までの学校に賞状とメダルを授与して表彰する。4位～6位までの学校には賞状を授与して表彰する。
- (3) 区間優勝者には、区間賞として賞状とメダルを授与して表彰する。

13 個人情報の取り扱いについて

- (ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会以外に使用することはありません。
- (イ) 参加申込書の提出により上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものと見なし、氏名・学校名・学年・記録を当ホームページに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表します。
- (ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真、映像が、新聞・雑誌・テレビ・大会報告書・ホームページ等で公開、放映されることがあります。

14 その他

- (1) 参加選手は、背腹に大会本部より各学校に配布された番号の番号布を付けること。
- (2) 参加校は選手申し込みと同時に、補助員(1チームにつき2名)の氏名を記入のこと。
- (3) 試走等、コース使用について
◎試走前・試走後には必ず、体育館の管理事務所に挨拶をすること。◎競技場、体育館は、有料施設です。無断で使用しないこと。
- (4) 保護者等の応援について
◎中央道の歩道がない場所での応援はコース幅が狭いために禁止する。
◎のぼり旗のコース内樹木等へのくくり付けは禁止する。持って応援すること。
- (5) 競技場をアップ会場として開放する。レース中は中央道コースの使用を禁止する。競技場雨天練習場を各校の待機場所として使用しないこと。
- (6) 体育館を各校待機場所として開放する。雨天時は体育館玄関ホールで開会式をおこなうので待機場所として使用しないこと。雨天時の閉会式は競技場雨天練習場でおこなう。
- (7) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。新型コロナウイルス感染症への対策については、別に連絡をおこなう。
- (8) 参加校の競技役員については2名以上でお願いします。また不参加校も1名以上の役員参加をお願いします。
- (9) 給水場所を女子1区折り返し付近に設ける。給水方法等は別に連絡をおこなう。

女子第42回滋賀県高等学校駅伝競走大会要項
兼女子第36回全国高等学校駅伝競走大会滋賀県予選会
兼女子第40回近畿高等学校駅伝競走大会滋賀県予選会

1 主 催	滋賀県高等学校体育連盟・滋賀陸上競技協会・滋賀県教育委員会・毎日新聞社			
2 共 催	公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園			
3 主 管	滋賀県高等学校体育連盟・滋賀陸上競技協会			
4 日 時	令和6年11月3日(日) 10時31分出発			
5 場 所	希望が丘文化公園 特設コース			
6 区 間	1区 3区 5区	6 km 3 km 5 km	2区 4区	4.0975 km 3 km

7 参加資格 (抜粋)

- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高校に在籍する生徒であること。
- (2)選手は、都道府県高等学校体育連盟加盟の学校の生徒であること。
- (3)都道府県陸上競技協会を経て日本陸上競技連盟の登録競技者であること。
- (4)平成17年4月2日以降生まれの女子生徒であること。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (5)転校後6ヶ月未満の者は出場出来ない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
- (6)全日制・定時制・通信制の混成チームは認めない。
- (7)参加資格の特例

ア 上記に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けていない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

「大会参加資格の別途に定める規定」

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し都道府県高等学校体育連盟の大会参加の認められた生徒であること。

2 以下の条件を具备すること。

大会参加資格を認める条件

ア、全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解しそれを尊重すること。

イ、参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ、各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の大会の出場条件が満たされていること。

エ、各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していなければ運営が適切であること。

8 競技規定

- (1)学校対抗(1校1チーム)とし、優勝チームは全国高等学校駅伝競走大会、上位6チームは近畿高等学校駅伝競走大会の出場権が与えられる。
- (2)チームは、監督1名、選手8名とし、申込後の変更は認めない。
- (3)監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、申込書に校長が認める文面を添付するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (4)学校単独による複数チーム又は複数校による混成チームの出場は認めるが、オープン参加とし、総合順位及び区間順位には入らない。
- (5)外国人留学生の参加については2名以内とし、出場については3区または4区で1名とする。
- (6)オーダー提出後の選手変更は、病気等不慮の事故以外認めない、変更の場合は、補欠をその区間の交代として補充し、必ず「選手変更届け用紙」によりその事由(医師の診断書等)を付して競技会当日8時30分迄に大会総務まで提出すること。
- (7)スタート時の整列順は、前年の順位を参考に大会本部が決定する。
- (8)引継は、タスキを用いる(各校準備の大会規定のもの)。タスキを肩に掛けていない選手は失格とする。(但し引き継ぎ前後300mは手を持って走っても良い。)
- (9)伴走は、一切認めない。競技中、中央道コース内への、出場チームに關係の有る者の立ち入り、歩行を禁ずる。大会本部指定自転車以外は競技中如何なる場合もコース内走行を厳禁する。
- (10)競技者は、如何なる場合も道路の左側端を走行すること。特にカーブでは設置してあるカラーコーンの左側を走行すること。
- (11)競技開始後の選手の変更は認めない。選手が事故等のためレースを放棄した場合は次走区から次走者が発走するものとする。この場合

の出発の時期は、最後尾走者と同時に出発させ、オープンとして取り扱うが区間順位は認める。

(12) 第1区を除く他区間で同タイムが出た場合は同順位とする。

(13) 先頭走者との差が著しく開いた場合、1チーム又は数チームの次区走者をそのチームの走者が到着する前に出発させる。(繰り上げ出発)

(14) 競技は、2024年日本陸上競技連盟規則、同駅伝競走基準及び本大会規定により行う。

9 監督会議・閉会式

監督会議 10月31日(木) 秋季総体1日目終了後(彦根) (出席の無い場合は棄権とみなす)

オーダー提出 11月2日(土) 13:00 (提出の無い場合は申込オーダーとする)

方法

開会式 11月3日(日) 9:30 ~

閉会式 11月3日(日) 14:00 ~(予定)

10 申込方法

日本陸連エントリーシステムにて、エントリーを済ませること。令和6年10月18日(金)を締切とする。

また、滋賀県高体連陸上競技専門部Webサイトに掲載する所定の様式に必要事項を記入し、・認知書(公印入り)をスキャンしPDFとして保存したものを、令和6年10月18日(金)までに顧問のページの送信フォームから提出すること

問い合わせ先〒522-0033 彦根市芹川町580

彦根翔西館高等学校滋賀県高体連陸上競技専門部

八木 佐知男 宛

※10月19日(土)に実施する滋賀陸協記録会高校の部に持参し、9:00までに提出する場合も可とする。

11 プログラム編成会議

令和6年10月19日(土) 9:30 彦根競技場 終了後HPにエントリー一覧表を掲載

12 表彰

(1) 優勝校には、優勝旗、毎日新聞社から代表旗を授与して表彰する。

(2) 総合1位~3位までの学校に賞状とメダルを授与して表彰する。4位~6位までの学校には賞状を授与して表彰する。

(3) 区間優勝者には、区間賞として賞状とメダルを授与して表彰する。

13 個人情報の取り扱いに関して

(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会以外に使用することはありません。

(イ) 参加申込書の提出により上記(ア)の取り扱いに承諾を得たものと見なし、氏名・学校名・学年・記録を当ホームページに掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表します。

(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真、映像が、新聞・雑誌・テレビ・大会報告書・ホームページ等で公開、放映されることがあります。

14 その他

(1) 参加選手は、背腹に大会本部より各学校に配布された番号の番号布を付けること。

(2) 参加校は選手申し込みと同時に、補助員(1チームにつき2名)の氏名を記入のこと。

(3) 試走等、コース使用について

◎試走前・試走後には必ず、体育館の管理事務所に挨拶をすること。◎競技場、体育館は、有料施設です。無断で使用しないこと。

(4) 保護者等の応援について

◎中央道の歩道がない場所での応援はコース幅が狭いために禁止する。

◎のぼり旗のコース内樹木等へのくくり付けは禁止する。持って応援すること。

(5) 競技場をアップ会場として開放する。レース中は中央道コースの使用を禁止する。競技場雨天練習場を各校の待機場所として使用しないこと。

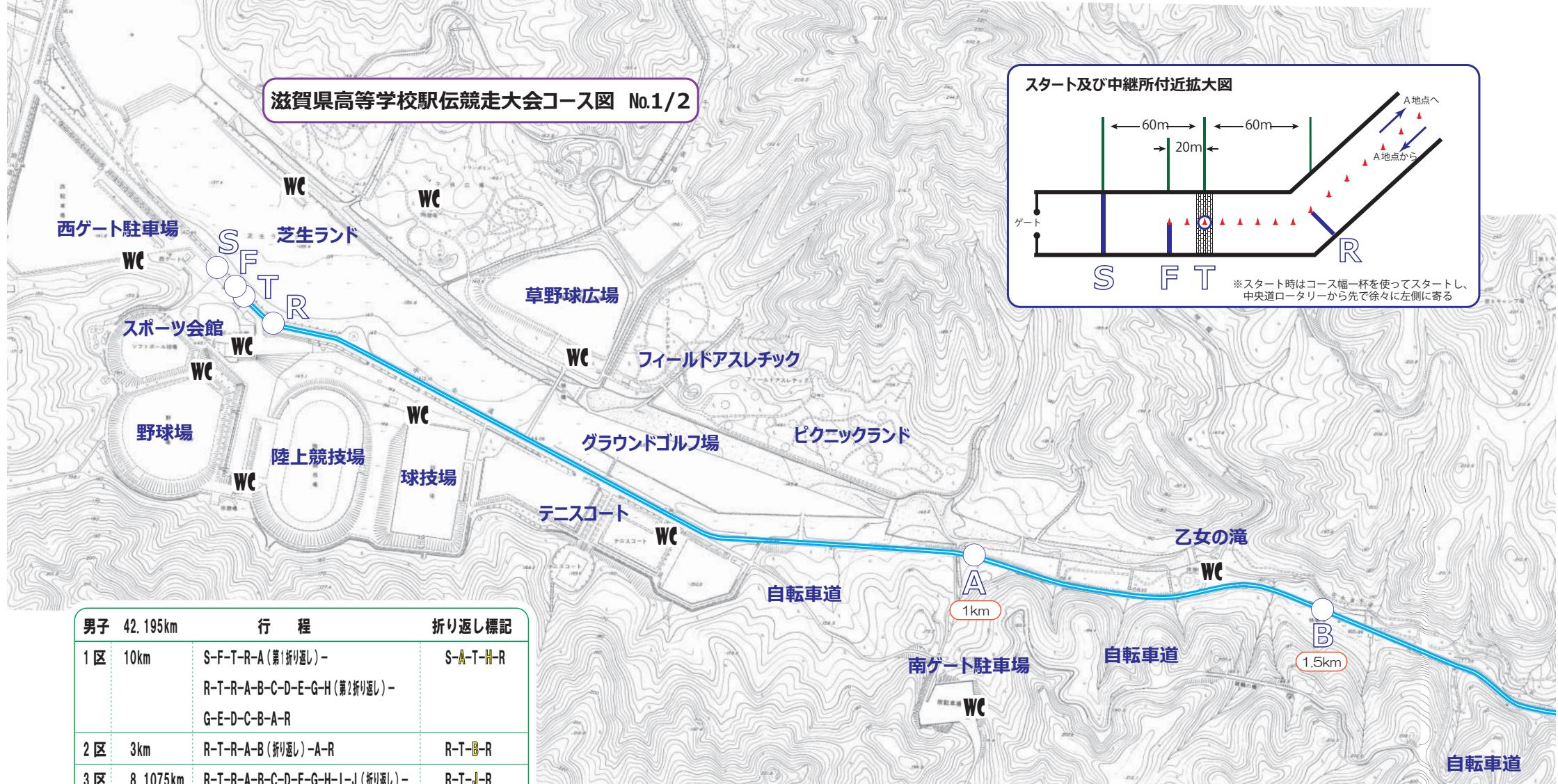
(6) 体育館を各校待機場所として開放する。雨天時は体育館玄関ホールで開会式をおこなうので待機場所として使用しないこと。雨天時の閉会式は競技場雨天練習場でおこなう。

(7) Jアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。新型コロナウイルス感染症への対策については、別に連絡をおこなう。

(8) 参加校の競技役員については2名以上でお願いします。また不参加校も1名以上の役員参加をお願いします。

(9) 給水場所を女子1区折り返し付近に設ける。給水方法等は別に連絡をおこなう。

滋賀県高等学校駅伝競走大会コース図 No.1/2



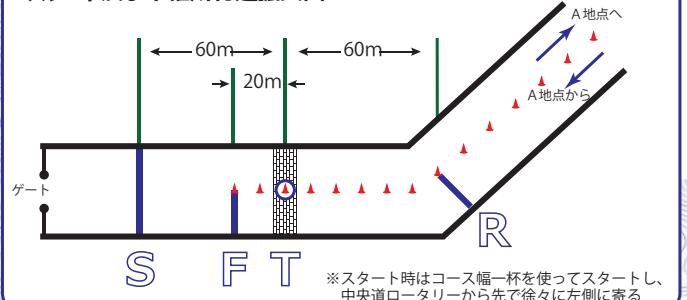
男子 42.195km 行 程 折り返し標記

1区	10km	S-F-T-R-A(第1折り返し)- R-T-R-A-B-C-D-E-G-H(第2折り返し)- G-E-D-C-B-A-R	S-A-T-H-R
2区	3km	R-T-R-A-B(折り返し)-A-R	R-T-B-R
3区	8.1075km	R-T-R-A-B-C-D-E-G-H-I-J(折り返し)- I-H-G-E-D-C-B-A-R	R-T-J-R
4区	8.0875km	R-T-R-A-B-C-D-E-G-H-I(折り返し)- H-G-E-D-C-B-A-R	R-T-I-R
5区	3km	R-T-R-A-B(折り返し)-A-R	R-T-B-R
6区	5km	R-T-R-A-B-C-D-E(折り返し)- D-C-B-A-R	R-T-E-R
7区	5km	R-T-R-A-B-C-D(折り返し)- C-B-A-R-T-F	R-T-D-F

女子 21.0975km 行 程 折り返し標記

1区	6km	S-F-T-R-A-B-C-D-E-G(折り返し)- E-D-C-B-A-R	S-G-R
2区	4.0975km	R-T-R-A-B-C(折り返し)-B-A-R	R-T-C-R
3区	3km	R-T-R-A-B(折り返し)-A-R	R-T-B-R
4区	3km	R-T-R-A-B(折り返し)-A-R	R-T-B-R
5区	5km	R-T-R-A-B-C-D(折り返し)- C-B-A-R-T-F	R-T-D-F

スタート及び中継所付近拡大図

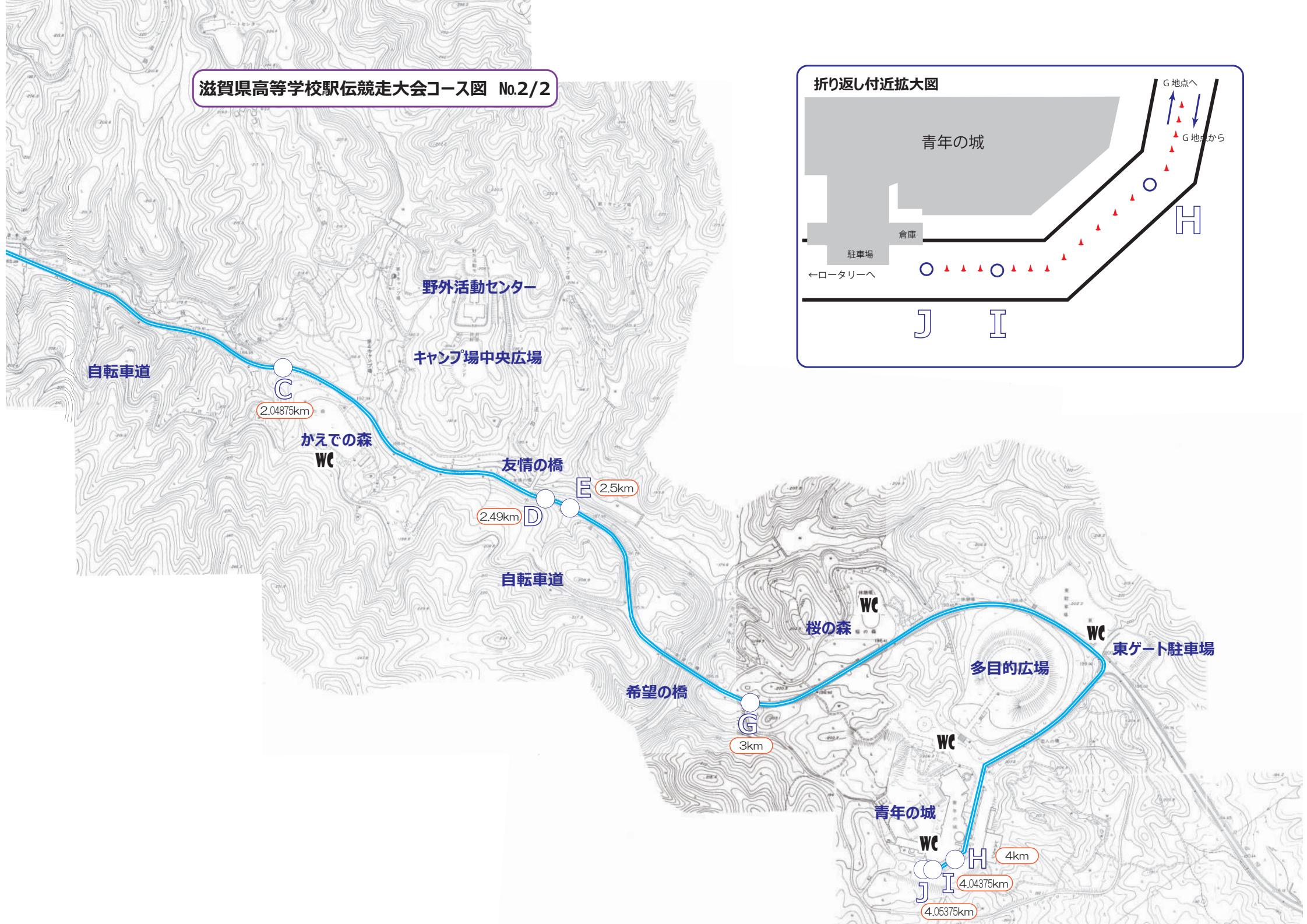


※スタート時はコース幅一杯を使ってスタートし、中央道ローターから先で徐々に左側に寄る

ポイント説明

S	Start	スタート	D	2.49km	男子7区女子5区折り返し
F	Finish	フィニッシュ	E	2.5km	男子6区折り返し
T	Turn	折り返し点	G	3km	女子1区折り返し
R	Relay	中継所	H	4km	男子1区折り返し
A	1km	男子1区折り返し	I	4.04375km	男子4区折り返し
B	1.5km	3km折り返し	J	4.05375km	男子3区折り返し
C	2.04875km	女子2区折り返し			

滋賀県高等学校駅伝競走大会コース図 No.2/2



競技注意事項

本大会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技会規則、同駅伝競走規準並びに本大会申し合わせ事項に基づき実施する。

1. 出場競技者について

- ① 正式オーダーは 11 月 2 日（土）13 時 00 分までに記録情報室に持参するか、顧問のページ内の滋賀県高校駅伝オーダーから男女それぞれのオーダー表ファイルを添付して送信すること。
- ② オーダー提出後の競技者の変更は、補欠をその区間の交代として補充すること。
- ③ 当日のチームの受付は、8 時 00 分から 8 時 30 分までに行うこと。選手変更の有無にかかわらず、「選手変更用紙」を提出すること。その際、タスキの確認と、給水実施（ビブス）の有無を確認する。

2. 競技について

- ① 走者はいかなる場合も道路の中心線より左側を走らなければならない。カーブでセンターをはみ出さないこと。特に右カーブで道路中央設置のコーンを超えると失格の対象となる。ただし、男女とも 1 区のスタート直後はロータリーまでを全面走行可とする。中継所において、タスキを渡し終わった走者は速やかに左側へ寄ること。
- ② タスキは、肩から斜めにわき下へかけて走るものとし、肩にかけていないものは失格とする。ただし引継ぎの前約 300m、引継ぎ後の約 200m は手に持って走ってもよいが、できるだけ早く肩にかけること。
- ③ アスリートビブスは各区間のものを正しくつけること。（男子校名黒色、女子校名赤色）
- ④ スタートのレーン順は昨年度の上位校をシード校として前列に配置する。
- ⑤ 人および自転車等の伴走ならびにそれに類する行為のあった場合、失格の対象とする。
- ⑥ レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から次走者をスタートさせる。この場合のスタート時期は最終走者と同時とし、オープン参加として取り扱う。総合記録は認めないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- ⑦ 繰り上げは、男子のみ 7 区走者で先頭通過「20 分」とする。（審判長判断とする）
- ⑧ 競技者が走行不能（歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人が競技続行の意思を持っていても、審判長または権限を委譲された審判員により競技を中止させる場合がある。
- ⑨ 緊急車両通行時は、警察等の指示に従うこと。なお、その際に生じたロスタイムについては考慮しない。

3. 招集について

プログラム記載の招集場所で行う。招集開始時刻を確認すること。点呼の際はユニフォームにビブスがついた状態で点呼を受けること。点呼に応じない場合は棄権したものとみなす。

男子	距離	招集開始	ビブスの色
第1区	10km	10:10	青
第2区	3km	10:40	黄
第3区	8.1075km	10:50	橙
第4区	8.0975km	11:15	绿
第5区	3km	11:40	桃
第6区	5km	11:50	赤
第7区	5km	12:10	白

女子	距離	招集開始	ビブスの色
第1区	6km	10:15	青
第2区	4.0975km	10:35	绿
第3区	3km	10:45	桃
第4区	3km	11:00	黄
第5区	5km	11:10	白

その他の注意事項

- ① 各校の監督は、自チームの生徒はもちろんOBや保護者の応援の仕方にも責任を持つこと。
- ② 応援移動のために自転車をコース内への乗り入れることを禁止する。
- ③ 中央道（コース）の移動は、レース中は禁止とする。すべてのレースが終了後に移動すること。
- ④ 登り旗の使用はテニスコート付近の芝生ランド側のみとする。手に持ち、コース上にはみ出さないようすること。
- ⑤ 横断幕の設置については、競技に支障をきたさないように注意すること。
- ⑥ 男子、女子の全国大会代表校は、終了後に出場のための手続きを行うこと。
- ⑦ 男子6位、女子6位までの入賞チームは、終了後に近畿大会（兵庫・南あわじ市）の手続きをすること。
- ⑧ 各チームで使用した場所の清掃を行うこと。優勝チームは体育館ロビーの清掃、2位・3位のチームは周辺のゴミ拾い等をする。また、体育室使用の学校はフロアのモップ掛け等の清掃をすること。

給水について

①給水ゾーン

- ・希望の橋～G地点（女子1区折返し）付近に設ける。
- ・学校を振り分けて、集団で来た時に対応する。

②給水方法

- ・各校で、1チームにつき1名の給水補助員をつける。
- ・給水補助員は、各チームで準備したビブスを着用し、周囲の応援・補助員と区別する。
- ・給水はあらかじめ決められた場所で、各チームで受け渡しをする。

③給水対象の区間

- ・男子1・3・4区、女子1区とする。

給水補助員について

①朝の受付

- ・9時00分にスポーツ会館階段下で給水補助員（各チーム1名）受付を行う。
- ・ビブス、給水ボトルの確認を行う。
- ・ガムテープ、養生テープ等に校名（区間）を明記してボトルに貼っておく。
- ・給水物は水のみとする。

②G地点での集合

- ・10時15分にG地点手前（G地点と希望の橋の間のスペース）に集合する。
- ・各自で遅れないように移動する。
- ・競技役員の指示に従って、給水場所を確認する。

③給水について

- ・選手との接触、妨害等のないように十分に注意して手渡す。
- ・並走は禁止する。
- ・飲み終わったボトルは、各チームで責任をもって回収する。

④給水終了後の補助員の移動について

- ・女子は終わり次第、選手に注意しながら移動する。
- ・男子は「E地点」まで移動して、最終ランナー通過後に移動する。